

・企業大学訪問

外務省

たくさんの大人が行き来する東京メトロ霞ヶ関駅。制服を着た僕たち16人は間違いなく浮いていました。官庁街を悠々と進み、守衛さんを横目に見ながら、外務省という日本の玄関口に足を踏み入れました。ロビーで係りの方を待っているとき、大きな外人さんも座っていました。なんとなく見ていたらやがて中から男性が出てきて、”ミスターナニナニ？サンキューフォーナニナニ”と握手したのです。かっこいい、とただ思いました。建物に入っただけなのに、受付を済ませただけなのに、もう満足でした。自分はすごいところにいるんだと実感しました。少しして、担当の方と挨拶をしました。勝手に背の高いスーツのおじさんをイメージしていたので、優しい女性でなんとなく嬉しかったです。事前に先生にもらった紙の担当者の欄に、外務省大臣官房国内広報室とありました。怖い想像も仕方ありません。

まず入ったのは記者会見室でした。後ろに世界地図のある、どこかで見たところでした。そこで二高の卒業生の方の話を聞きました。高校では遊んで、一浪して東大に入ったそうです。ここにこした素敵な笑顔の裏には大変な努力があったに違いありません。ここから、見学の学のほうの話になりました。もらった冊子を開くと、もう始めからそれらしい言葉がずらり。平和で安全な国際社会の維持…調和ある対外関係…国民の利益の増進…。読み解くと、外務省の日本外交の5つの取り組みがあると。日本と国際社会の平和と安定の確保。僕の中ではこれこそが外務省だと思う役割です。次に、途上国の開発支援と地球規模課題の解決への貢献。感動的なドラマが繰り広げられそうです。そして、日本経済の再生と国際社会の繁栄の追求。いろいろな協定があるようです。4つ目が、日本についての理解の促進。これはピンとききました。僕がアメリカに何年か住んでいたとき、自分が周りとは違う肌であることを初めはとても気にしていたものでした。ところが、”どこから来たの？” **Japan.** と答えると”オーウ、クール！”という会話がいくつもありました。向こうの人たちは日本に対してかっこいい、すごいという印象を持っていたのです。なんだか自分がクールになった気がして、日本のことをもっと知ってもらいたいと思いました。何度かそういう機会があり、いろいろと紹介しました。折り紙も折って見せました。クール！ハロウィンでは忍者のかっこをしました。クール！次の年にはセサミストリートのかっこをしました。クール！そうして、僕は日本人であることを嬉しく、誇らしく思うようになりました。自分と違う文化は、知ると面白かったり意外に興味深かったりするものです。こうした交流は、世界がお互いに信頼関係を育てる上でたいせつなことです。さて最後が、国民と共にある外交の推進。今回の企画はこれの実現だそうです。世界に向かうのに国民の理解がなければなりません。ここまでの話を聞いて、外務省の仕事を学びました。日本と世界の架け橋であり、国際社会の中の日本としての顔であるということです。

次に話の場は会議場に移りました。同時通訳の施設がある立派なところでした。居心地のいい大きな椅子、おしゃれなライト、一人一つのマイク。こういう場所で自分の意見を言うなんて素敵だなと思いました。いつかまたここに座れるように、と祈りました。始まったのは国際機関の話でした。もらった国際連合システムのプリントには、見たこともないような組織が並んでいました。UN-HABITAT,国連人間居住計画。UNGEGN,地理学的名称に関する国連専門家グループなどなど。前日に泊まったホテルの部屋から UNICEF の看板が見えました。的な言葉を並

べればどれかにはなります。外務省からこういった機関に入る人もたくさんいるそうです。難しい話でしたが、また優しい方で質問もたくさん出ました。外務省に勤める上でたいせつなことは、国と国民のために尽くす意志だそうです。いつか言ってみたいなと思いました。

責任が重く、堅い仕事であるということを感じた1時間でした。何よりも嬉しかったのは、みんな普通の優しい方々だったということです。ホッとしました。反省点といえば、廊下で職員の方とすれ違うときに挨拶ができなかったところです。ただならぬ雰囲気のせいです。貴重な時間を過ごすことができました。

・OBOGによる懇談会

東大生。あまりいいイメージではありませんでした。ところが普通の大学生で、話もおもしろく優しい皆さんでした。一番印象に残ったのは、最後に話を聞いた一橋の人の話です。世界一周とさらっと切り出すと、たくさんの国の写真を順番に見せてくれました。ごはんの後の眠気が一気に冷めました。こういう人から出る言葉は一つ一つがキラキラしてるように思います。小さな驚きの連続でした。彼のような人を友達に持つべきです。またいつか話を聞きたいと思いました。

・ディレクトフォース

直訳したら直接的な力。これは役に立つと思ったら、あたりました。まず初めの基調講演。前国際エネルギー機関事務局長という経歴は眠気を追い払うのに十分すぎるほどでした。すごい方だと実感したのはオバマさんとのツーショットです。他にも会議での様子、談笑している様子などいろいろな写真を見ました。驚いたのは、常に堂々と世界の人々と語り合っていたところです。国際社会の最前線で実際に働いてきた田中さんの言葉は一つ一つが重く、生き生きとしていました。次のグループセッションは、とにかくメモをすることでいっぱいいっぱいでした。それぞれの担当分野は違っても、どこか共通した意識、目的があるように感じました。70代の方のお話は特に忘れません。仕事には健康が不可欠だ、と。決して勉強だけがすべてではないと教わりました。ここで聞いた様々なことを活かせるように、これからの高校生活を過ごしたいと思います。